

第4回 地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議事録

開催日時:2025年1月16日(木)14時30分

場所 :JCHO大阪病院 6階会議室5

出席者 :【委員】

委員	JCHO 大阪病院	院長	西田 俊朗
委員長	JCHO 大阪病院	院長特任補佐	市川 肇
副委員長	JCHO 大阪病院	副院長	島田 幸造
委員	JCHO 大阪病院	副院長	金子 晃
委員	JCHO 大阪病院	副院長(看護部長併任)	谷岡 美佐枝
委員	JCHO 大阪病院	事務部長	細井 昌宏
委員	福島区医師会	会長	中島 滋郎
委員	福島区医師会	副会長	塚本 尚哉
委員	福島区医師会	理事	塚本 雅子
委員	福島区歯科医師会	副会長	石田 裕將(代理)
委員	福島区薬剤師会	副会長	横井 仁一(代理)
委員	福島消防署	署長	松田 幸久
委員	(病院利用者)		西川 まさ子

【関係者】

大阪病院	救急科診療部長	小笠原 延行
大阪病院	副看護部長	岩田 富美
大阪病院	医療福祉相談室・地域医療連携室室長	三村 麻紀子
大阪病院	救急外来看護師長	松山 佳子
大阪病院	総務企画課長	小西 英康
大阪病院	地域医療連携室係長	小谷 直子

【議題】

1. 地域医療支援病院 指定要件に関する定期報告
 - 1) 救急医療の提供に関すること
 - 2) 紹介患者に対する医療提供に関すること
 - 3) 共同利用の実施に関すること
2. その他 地域医療支援に関すること
 - 1) 退院支援
3. 地域医療従事者に対する研修に関すること
4. 当院に対するご質問、ご要望等

1. 地域医療支援病院 指定要件に関する定期報告

1) 救急医療の提供に関すること

・12月にはインフルエンザが爆発的に増加。年末年始にかけても患者増加し、病床逼迫しています。現在も救急受入れを制限している状況で、ご迷惑おかけして申し訳ありません。

・(松田署長) 年末の救急搬送依頼が大阪市内で1,100件/日を超えて、近年まれにみる忙しさでした。軽症ではあるが病院の受け先が見つからず困りました。#7119の救急安心センターへの問い合わせも2,800件/日ありました。年末年始で医療機関も休診で案内できる医療機関がないという状況になってました。

・救命士3名でこの3か月間で計39件のお迎え搬送依頼に対応しました。

・年末年始において、地域のクリニック等からの受入れ強化を目標として、取り組み、目標を上回る患者さんを受け入れることができ、診療科別では総合内科が最も多かった。

2) 紹介患者に対する医療提供に関すること

・9月以降退院時の逆紹介を推進したため、以降の逆紹介率が増加。

・WEB予約利用申込数は36施設、実際の稼働は3施設ほど。稼働施設が増えるよう推進していきます。

3) 共同利用の実施に関すること

・当日の検査受入れ可能です。ご案内のチラシ作成しており、出来上がり次第お知らせ予定としています。

2. その他 地域医療支援に関すること

(退院支援)

退院調整の転帰について、約6割が転院、約2割が家庭への退院となっている。転院のうち約3割が回復期リハ病棟である。

カンファレンスの件数は維持しており、月平均16件。

引き続き、早めに介入をして退院までのカンファレンスを行い、自宅での生活が継続できるよう支援していきたい。

3. 地域医療従事者に対する研修に関すること

・別添資料に沿って説明

4. 当院に対するご質問、ご要望等

・(中島会長) 職員さんのインフルエンザ罹患はどうか。マンパワー不足で受入れ不可になったりしますか。

・(谷岡副院長) 職員の罹患はありますが、マンパワーの理由で入院などの受入れを止めることはないです。

以上